

非ホジキンリンパ腫（進行・再発） 2nd、3rd Line R-DeVIC療法

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!

アルコールアレルギー 無いことを確認し選択	必ず
--------------------------	----

投与スケジュール: 1コース 21~28日間 目標: 2~6コース

《 使用薬剤 》

- リツキシマブ (Rituximab): リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V
- カルボプラチン (CBDCA): (カルボプラチン) 150mg/15mL/V、450mg/45mL/V
- エトポシド (VP-16): エトポシド点滴静注液 100mg/5mL/V
- イホスファミド (IFM): (イホファミド) 1000mg/V

使用基準: CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

- ※ **Infusion reaction**に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。
重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。
- ※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)
腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症
- ※ Hbc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m ²	#VALUE!		1
カルボプラチン (CBDCA)	300 mg/m ²	#VALUE!		2
エトポシド (VP-16)	100 mg/m ²	#VALUE!		2~4
イホファミド (IFM)	1500 mg/m ²	#VALUE!		2~4

《 タイムスケジュール 》 リツキシマブBS、DeVICの開始時刻を別々に入力してください

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月7日 (金)

点滴前内服

- ① カロナール錠 200mg 2T 1x (1)
- ② ポララミン錠 2mg 1T 1x (1)

0時00分 ① 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg
30分で点滴静注

0時30分

②	5%ブドウ糖液	0mL
+	リツキシマブBS注	0mg 0.0mL

- ↓ 50mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる
- 徐々に投与速度を上げて点滴静注
- ※下記は2回目以降の投与
- ↓ 100mL/hrで30分点滴静注
- ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/hrずつ上げることができる
- ↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

- ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

 << タイムスケジュール：開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day 2 1月8日 (土)

		メイン 側管			
0時00分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 6.6mg 5V			
		15分で点滴静注			
0時15分	②	生理食塩液 250mL + カルボプラチン (CBDCA)		0mg	
		1時間で点滴静注		0.0mL	
1時15分	③	生理食塩液 500mL + エトポシド (VP-16)		0mg	
		90分で点滴静注		0.0mL	
2時45分	④	生理食塩液 250mL + イスファミド (IFM)		0mg	
		2時間で点滴静注			
2時45分	④'	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド投与時)			
		15分で点滴静注			
4時45分	⑤	生理食塩液 50mL			
		フラッシュ			
6時45分	⑥	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド 4時間後)			
		15分で点滴静注			
10時45分	⑦	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド 8時間後)			
		15分で点滴静注			

Day3~4; 1月9日 (日) ~ 1月10日 (月)

		メイン 側管			
0時00分	①	生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 6.6mg 5V			
		15分で点滴静注			
0時15分	②	生理食塩液 500mL + エトポシド (VP-16)		0mg	
		90分で点滴静注		0.0mL	
1時45分	③	生理食塩液 250mL + イスファミド (IFM)		0mg	
		2時間で点滴静注			
1時45分	③'	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド投与時)			
		15分で点滴静注			
3時45分	④	生理食塩液 50mL			
		フラッシュ			
5時45分	⑤	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド 4時間後)			
		15分で点滴静注			
9時45分	⑥	生理食塩液 50mL + ウロミテキサン 3A (イスファミド 8時間後)			
		15分で点滴静注			

REFERENCE

岡本昌隆, 丸山文夫, 都築基弘 他 : 臨床血液 Vol. 35(1994), No. 7 pp. 635-641
 初回寛解導入不応、および再発非Hodgkinリンパ腫に対するdexamethasone, etoposide,
 ifosfamide, carboplatin併用療法の治療成績 - 寛解導入効果を中心に -
 2011年化学療法プロトコル審査委員会承認 : 2011年2月14日 更新:2018年9月10日

.....

////